

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	当院における予定外 ICU 入室症例の予後予測調査
研究責任者（所属名）	小野原 貴之（救急科 医師）
本研究の目的	当院は 2011 年 12 月より Rapid Response System (RRS) を導入し、2017 年 12 月から電子カルテの経過表に National Early Warning Score (NEWS) を表示できる取り組みを開始しています。毎月開催される RRS 運営委員会で NEWS の入力漏れチェックや NEWS を活用したバイタルサイン測定指針を示し、NEWS を基盤として活動を行ってきました。また救急科が RRS を主導し、Medical Emergency Team (MET) や Critical Care Outreach Team (CCOT) の運用を行い、Intensive Care Unit (ICU) のベッドコントロールも担っています RRS のアウトカムとして、Unplanned ICU admission (ICU 予定外入室) が知られており、ICU 外に入院中の患者の、予定外での ICU 入室と定義されています。 本研究では予定外 ICU 入室症例の予後予測に NEWS が使用できるのか、その他使用できるパラメータの存在の有無を明らかにすることが主たる目的としております。
調査データの該当期間	2019 年 6 月から 2023 年 3 月まで
研究の方法 (使用する試料等)	上記該当期間で予期せぬ ICU 入室となった症例を抽出し、日付、入室時間、年齢、性別、NEWS、28 日生存の有無、入室理由を調査します。28 日生存をアウトカムとし、各パラメータとの関係を統計学的手法を用いて検討します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、統計処理を行った後のデータを発表し、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：管理課長
備考	